

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/1/15(月)

マタイ7:1-14

1-5節：梁とは丸太のようなもの。相手の失敗や落ち度を責める時、神様は君をどう見ているだろう。相手を見る目、自分を見る目について考えてみよう。

7-11節：神様はあなたの天のお父さんだということを胸に刻もう！良いものを与えてくださる天の父に信頼する人の生き方はどのようなものだろうか？

12節：これは黄金律とも呼ばれる。「律法と預言者」とは旧約聖書全体を指すことばだよ。神様の心に沿った生き方ができるように祈って出ていこう！

2024/1/16(火)

マタイ7:15-29

21節はドキッとすることばではないだろうか？神を知っていて、「主よ」と呼ぶ人であっても、天の御国に入れない人がいるとはどういうことだろうか？

もし聖書の神を知識においてだけ知っているというのであれば、その人は本当には神様を知らない人だ。君は親や兄弟、友達のことを知っているように、神様をどれくらい知っているだろう？親しい関係を持ち続けていくためにどうすれば良いだろう？君に向けられている神様の心をもっと知れるように、心を開いてお祈りしよう！

2024/1/17(水)

マタイ8:1-17

ここでは、イザヤ書の預言の成就として、ツアラトに冒された人と、百人隊長のしもべ、さらにペテロの姑を癒したことが詳しく記されている。

まず、ツアラトに犯された人の癒しである。イエスは御手を伸ばして触り、その人を癒された。祭司に見せなさいと言ったのは、それが彼の社会復帰にとって必要なことであったからである。

また、百人隊長の中風に悩むしもべの癒しである。百人隊長は自分が異邦人であるのを弁えて、イエスのことばの権威に信頼した。

三つ目はペテロの姑の癒しである。ここでもイエスは彼女に触れて癒しをなされた。

イエス様は、信じる者に対して御わざを行なってくださるお方である。そのことを覚え、お祈りしよう。

2024/1/18(木)

マタイ8:18-34

今日の箇所ではとても有名なイエスさまが行った奇蹟が2つ登場する。一つは船の上で嵐を叱りつけ、静めるといふもの。もう一つは悪霊に憑かれていた人から悪霊を取り除き豚の群れの中に送ったというもの。

イエスさまの周りにはたくさんの方が癒しを求めたり興味で集まり、奇蹟をたくさん見聞きしていた。ただこれらを見た人全てが弟子となったわけではないということを今日は注目してみよう。

奇蹟を見た人でさえも信仰の確立、継続は難しい。人は弱すぎるのだ。だからこそ一層祈り求め、信仰を強く保ち続ける生き方、選びをしよう！！

2024/1/19(金)

マタイ9:1-13

●9vをじっくり読もう。イエス様は誰に声をかけたかな？何て声をかけたかな？

●収税人は当時みんなから嫌われていた。不当にお金を取り立て自分の財布に入れていたからだ。マタイは嫌われ者の自分にイエス様が声をかけてくれてどう思ったと思う？

●イエス様は君にも声をかけている。「わたしについて来なさい」それに応答したマタイの人生は全く変わった。イエス様の弟子として、君が本当に大切にすべきことは何か考えてみよう。

2024/1/20(土)

マタイ9:14-26

弟子たちが断食しないことを問われたイエス様。この断食は神様に祈ることを集中するために、自分から決めて食事をしないことだった。だけど、質問した人たちにとってはやって当たり前の形としてちゃんとするための断食になっていた。だから、今はイエス様と一緒にいる喜びの時であること、そして義務感ではなく、心から神様を求めて断食をする時が来ることを話されたんだ。

その後には長血の女性の癒し、会堂司の娘のよみがえりが記録されているね。癒しを必要としているその時にも、そして人の目からは遅いと思う死んでしまっただけでも神様の時に起こることに不可能は一個もない。

私たちも心から神様を求めていけるように、そしてすべてのことに神様の時を待つことができるよう祈ろう！

2024/1/21(日)

マタイ9:27-38

「わたしにそれができると信じるのか」このようにイエスさまに語りかけられたとき、あなたはどのように答えますか？

目の見えない二人は、イエス様ならお出来になると心から信じ、その信仰によって二人の目は開かれました。

私たちの毎日の祈りは、心からイエス様を信じ、期待して祈っているでしょうか。

祈りながらも、祈りが聞かれることに疑いをもっていないでしょうか。

静まって自分の心を、祈りを、思い巡らせてみよう。

そして、自分の心の内をイエス様に祈り、伝えてみよう。